



第二ぎんなん便り

社会福祉法人つなぐ育成会
熊本市手をつなぐ育成会
第二ぎんなん作業所
平成28年6月27日発行
第361号

利用者本位の作業所



学校にいたときの年度当初の職員会議で、障がいのある子どもに関わる者が特別支援教育や特別支援学校で大切にしたいこととして、

- ①何よりも障がいのある子どもが大好きなこと。障がいのある子どもの教育は、私たち自身の人間性が問われる教育。この教育には、障がいのある子どもたちが大好きで、子どもたちのことを一生懸命に考えられる人だけでよい。(障がいのある子どもが好きでなければ、一般の学校に行けばよいし、子ども自体が好きでないなら別の仕事に就けばよい。)
- ②障がいのある子どもの存在をかけがえないものとして関わる真摯な姿勢、これこそが特別支援学校で仕事をする私たちに最も必要な資質である。
- ③この教育では、体罰・虐待、暴言、人権・人格を無視・軽視した関わり、言動などはあってはならないし、①②を大切にすればあり得ない。ということを書いていました。

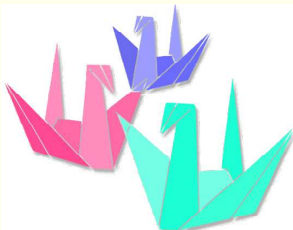
教育も福祉も、障がいのある人の人権や人格を尊重することなしには成立しないと思っています。

第二ぎんなん作業所に来て、どうなのだろうと注目して見ていましたが、3ヶ月弱いて、第二ぎんなん作業所は利用者本位の事業所であるということを確認しました。

「利用者本位」の運営、支援、福祉サービス。これが、何を置いても最も大切な理念ではないかと思っています。職員の対応は、利用者一人一人の人権・人格を大切に、とても丁寧ですし、1日の流れはゆっくりとしています。これも現在の利用者の実態に合っていると思います。

利用者本位の作業所という理念は、第二ぎんなん作業所の開設以来、多くの人の思いやその時々関係者の努力による大切な財産であり、これからも守り継いでいかなければならないと思っています。

ハード面では、とても老朽化した作業所ですが、運営や利用者支援、対応などのソフト面では、どこにも負けない事業所を目指していきたいと考えています。



ミニコンサート 週末の豊かなひととき

作業所では、週末の金曜日の午後は、1週間の作業を頑張ってほっと一息つく時間。ゆっくりDVD鑑賞をしたりカラオケをしたりする時間に充てていますが、24日(金)には、パイロットクラブ様のお世話で、プロの演奏家の方の演奏を鑑賞する機会がありました。

演奏してくださったのは、河野康弘(こうのやすひろ)さん(ジャズピアニスト・地球ハーモニー代表)という方です。ホームページを見ますと、こんな小さな作業所で演奏していただくことが申し訳ないくらい著名な方でした。

今回は、熊本地震への支援の一環として熊本にお出でになり演奏をしてくださいました。

プロの方の本物の演奏と楽しい交流に、週末の午後、とても豊かで贅沢な、そして、楽しいひとときを過ごすことができました。

機会を用意していただきましたパイロットクラブの皆さま、演奏いただいた河野康弘さんには心より感謝を申し上げます。



河野康弘さん



楽しい交流のひととき

受託加工の作業スタート

保護者から、太陽光発電のソーラーパネルを固定するアルミ製金具組立の受託加工の仕事が大量にきています。

4人程度の利用者で工程を分担して1日500個を組み立てています。

梅雨で外作業ができにくい時期ですので、とても助かっています。利用者も、目先が違う仕事なので関心が高いようで、交替しながら意欲的に作業に取り組んでいます。



分担して組立



完成型

リサイクル回収へのご協力ありがとうございます

古紙、アルミ缶などリサイクル資源物の回収作業は、利用者の大変な工賃源となっています。

最近、熊本地震のために出た本などの回収依頼が相次いで連日の回収作業が続きました。

定期的にお伺いしているお宅の中には、今回の地震で自宅の被害が出たところもありました。ご自宅の片づけや修繕をされる中、回収物にご協力をいただき感謝しています。

地震から2ヵ月が経過し、ようやく通常のサイクルにもどりつつあります。昨年からのリサイクル品の単価低下もまだ回復の兆しが見えませんが、新たに市内の特別支援学校にも協力をいただくことになりましたので、更なる収益アップに取り組んでいきたいと思っております。

(太田家)



リサイクル回収担当の太田家です



アルミ缶・紙の回収

船橋ライオンズクラブ様から テレビ、時計の寄贈

今回の地震で壊れた機材への支援として、千葉県船橋市の船橋ライオンズクラブ様から、40インチテレビと、温度・湿度計付の掛け時計3点をいただきました。

金曜午後リフレッシュ活動で、利用者がとても楽しみにしていたDVD視聴やカラオケなどが、地震でテレビが壊れてできなくなっていましたので、利用者は心待ちにしていました。

また、作業場は夏場は35度を超えるとのことで、温度・湿度が分かる時計はとてもありがたいです。

ちょうど、24日(金)のミニコンサートの時間に、会員の方3人が福岡での世界大会に参加されるついでに作業所にお出でになりました。利用者・職員で、テレビと時計のお礼を直接申し上げることができてとてもよかったと思っています。



6/24 船橋ライオンズクラブの方との記念撮影

今、農場では

■ サツマイモの苗植え

今年も塩井様のご厚意で、広いサツマイモ畑の一部(畝3列、相当長い)に、サツマイモの苗を植えさせていただきました。畝立て・マルチ張り、苗の準備まで、全部していただき、植えるだけの状態でした。



サツマイモの苗植え

17日(金)には、みんなで分担して苗を植えました。秋の収穫が楽しみです。

■ ニンニク販売好調

収穫後、作業所で十分に天日干しをした製品を販売中で、あと僅かとなっています。



ニンニク 製品

■ ジャガイモの収穫

梅雨でなかなか農場に行く機会がない中、天候を見ながらジャガイモの収穫をしました。昨年度よりも収量はアップ。現在、販売準備中です。



ジャガイモ収穫

現場実習生が来ています

6月22日~28日の5日間、熊本支援学校2年生の山下徹人さんが現場実習に来ています。最初は少し緊張気味でしたが、すぐに作業所の雰囲気になじんで作業や他の人との関わりを楽しんでいる様子でした。

利用者の人たちも、実習生が来るのをとても楽しみにしていたようでした。地震の関係で例年の半分の日数ですが、実り多い実習となることを期待しています。



左から二番目が山下徹人さん

2度にわたる大地震とその後の余震。余震の回数はかなり少なくなったものの、まだ時々震度3~4の地震があります。

そして、今度は、梅雨本番、記録的な豪雨のダブルパンチ。

地震も大雨も早く終息することを心より願っています。(高橋)

